

## これが王道！合格へのロードマップ！！

【11・12月】いよいよ具体的な受験プランを立てる時期で、一番苦しい時期でもある。

でも友人・先生・保護者はみんな応援している

この時期から成績は着実に伸びてくるはず。手ごたえを感じる人も多いだろう。志望校を決める面談も始まり、いよいよ併願校も含めて最終的な受験プランを計画する時期。

☆集中的な共通テスト対策

☆学校を絶対に休まない、遅刻しない、最後までいつものペースを守ること。

☆体調管理が最優先。必要に応じてインフルエンザのワクチンを受ける。

【1月】共通テスト本番。でも共通テストは通過点でしかない。

共通テストが終わるといよいよ受験本番。今まで以上に過去問に取り組もう。ある難関大学に合格した先輩は、過去20年分やったと言っていた。国公立大志望者は、共通テスト後に2次試験対策に切り替える。私立大志望者は、共通テストを反省し私立大対策に生かす。

記述問題・論述問題は上高の先生に積極的に見てもらおう。個別に丁寧に指導して下さる。

☆体調管理が最優先、規則正しい生活リズムを継続しよう。

☆不安でいっぱい。でも不安のない受験生なんていない。自信満々の受験生なんていない。

【2月】入試のピーク。現役生は受験の当日まで伸びる！・・・は本当である。

「受験をし、問題の振り返りをし」を繰り返していくうちに、現役生は本当に実力が伸びていく。体調の維持も大切な受験の心得。

☆自宅学習期間ですが、それでも学校の自習室や教科の先生をとことん利用する。家で孤独に勉強するよりも、学校に来て、リズムを崩さない。受験が思うようにいかなかったら、すぐに担任の先生や進路指導部の先生に相談する。決して一人で抱え込まない。

【3月】お疲れ様！1年前の自分を思い出してみてください。受験なんて「たかが受験」。だけど1年前の自分と今の自分は確実に何か違うはず。

受験に成功しようが、残念ながら失敗しようが、ここまで精一杯戦った人は、かけがえのない大きなものを得たし、この1年間は忘れられない1年間になったはず。大人になっても、高校3年生の夏休みのこと、スランプになって悩んだこと、そしてこの2月、3月の合格発表の瞬間はずっと覚えているもの。

☆自宅学習期間ですが、それでも学校の自習室や教科の先生を利用して下さい。家で孤独に勉強するよりも、学校に来てするのがいいかもしれません。上高はみなさんのベースキャンプみたいなものです。何かあったらいつでも来て下さい。

## 併願校選びで注意することは？過去問解くべし！

第一志望の本命1校だけではなく複数の併願校を受験するのは、受験機会を増やし合格の確率を高めるためであったり、第一志望校受験に向けて試験慣れしておくためであったり様々である。第一志望以外の受験校選びを簡単に考え、安易な選択をしたがゆえに受験本番で失敗を招く恐れもある。

①偏差値などの数字データだけで判断するのではなく、実際に各校の過去問を解いて判断をするということだ。そして実際に入試問題の傾向と自分の特性との相性があっているかをしっかりと見極めて欲しい。

一例として偏差値レベルでは同レベルの大学であっても、問題自体の出題傾向や難易度が全く異なるということも見られるのだ。自分にとって相性が良く解きやすい問題なのか過去問を解かない限り分からない。併願候補の大学の

過去問を解いてみて、自分にとって得点を取りやすいかどうか、今はまだ合格最低点に届かないが、これから本番までの3か月までの間で伸びが期待できそうかどうか、このような感触をつかむ事は重要である。

併願校候補の過去問を解いて判断するという作業を省略した結果、第一志望校よりも難易度が低く、楽勝だろうと見込んだ併願校に不合格となり、受験全体に自信を持ってなくなってしまうという痛い経験をする受験生は一定数いる。甘く見ていた併願校でのつまづきは、心理的ダメージが大きいものだ。前号でも書いたが、最後まで諦めずにやり抜くマインドが揺らぎ動揺してしまい、本来の力が発揮できず、不本意な結果に終わってしまうこともあり得る。本番前に試験慣れをするためのいわゆるすべり止めのために受けたはずなのに今までの努力が報われない。第一志望校の対策を活かして、自分と相性の良い併願校を的確に選んで欲しい。

## 【先輩たちの失敗例から学ぶ】

★偏差値を見て合格できそうな併願先をきめたはずなのに、入試本番でビックリ！苦手なタイプの設問ばかりで不合格に・・・

★第一志望校と同じ学部名だったから、内容が同じはずと思って入学したら、自分がやりたかった研究にはあまり力を入れていなかった・・・

## 受験プランを立てる意味って？メリットは？！

- ◆入試方式や入試難易度のバランスを一目で確認できる
- ◆優先して勉強すべき科目を知ることができる
- ◆試験日の連続や重なりを事前に把握できる
- ◆改めて調べることで大学の特徴を再確認できる

具体的な目標ややるべきことが明確になれば、安心感が得られ、むやみに焦ることもなくなる。

次のチェックリストを見て受験プランを見直そう！！

- |  |  |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 同じ大学ばかり挙げていないか                                    | <input type="checkbox"/> 偏差値帯に偏りはないか               |
| <input type="checkbox"/> 入試日が連続しすぎていないか                                    | <input type="checkbox"/> 納得して入学できる大学が揃っているか        |
| <input type="checkbox"/> 第一志望校の試験前に受験できる大学はあるか                             | <input type="checkbox"/> 第一志望校と併願校の科目・出題範囲はそろっているか |
| <input type="checkbox"/> 志望理由(学部へのこだわり)に一貫性があるか                            | <input type="checkbox"/> 自分に有利な入試方式を選んでいるか         |
| <input type="checkbox"/> 今後力を入れるべき科目を把握したか                                 | <input type="checkbox"/> 保護者と受験費用の話が具体的にできているか     |
| <input type="checkbox"/> 第一志望校の合格発表日より入学手続き締切日が早い大学に合格した場合のお金の負担を考えられているか。 |  |

## 現役合格を勝ち取るためには！！

- ① 最後まで諦めなかった
- ② 得意科目で得点できた
- ③ 計画的学習が実行できた
- ④ 集中力があつた
- ⑤ 規則正しい受験生活を送った
- ⑥ 受験時に不得意科目が無かった

共通テストまであと60日ちょっと・・・13日(水)には学年集会もあります！！20日(水)は大学個別相談会。併願校決めにも役立ちます。17日(日)は校外模試です。今までの成果を出しきりましょう！



## 先輩に聞く「共通テスト必勝法」

共通テストまで、あと60日になりました。共通テストは、国公立受験の人はもちろん、私大を志望している人にとっても、活用度が広い試験です。ただ、私大や国公立大2次の入試問題に比べると問題形式が異なります。例えば、①全問マーク形式②問題文が長い③グラフや資料の読み取りがある④数学などでは、誘導に従って解かなければならないなどです。共通テストで高得点を取るためには、しっかりと基礎学力を土台にした上で、各教科の特色ある問題に、共通テスト模試・過去問・予想問題等を使いながら、慣れていくことも大事です。今回は、過去に共通テストで高得点を取った元大学生チューターに、共通テストで高得点を取るための対策をアドバイスをもらいました。

### 【数学ⅠA・ⅡB】 75期 東京工業大学工学院 I. T. 君

一般選抜の数学と共通テストの数学は異なる教科だと思ってくれていいので、共テ対策が必要です。

共テの特徴としては、

○難易度は、基礎中の基礎から発展まで幅広い。

○出題範囲は数Ⅰの「データと活用」までしっかり出る。

○出題は虫食い問題が基本だが、直接的な問いを虫食いにしているものも多い。

( $X^2 - 2X + 6$ )を因数分解すると( $X + a$ )( $X - b$ )である等

○一部の虫食いは、一風変わっているものであり、思考力とメタ読み力が試される。

以上を踏まえると、

①問題形式に慣れること。大問構成や問題構成、文章題をどれだけ早くいつもの問題に落とし込めるか。

②一般受験対策と共テ対策を同時並行で行う(理系の人向け。共テのみの文系の人は共テ対策メイン)。

③問題を解く際に、時間意識を持つ(1つの大問20分など)

④スケジュールを立てる

1) 受験までの計画(○月までに過去問X回文、ここでは一般受験と共テをどれくらい)

2) 月ごとの計画

3) 週ごとの計画

4) 日ごとの計画

が大切です。共テは慣れればたいした敵じゃない。数学力を伸ばしておこう。

73期大学生チューターのS. R君(電気通信大学)は、2022年の史上最低の平均点だった数ⅡBの問題を見て、「2022年度数ⅡBの第4問で状況理解や文章の理解が出来ず、焦って読み返して悩んで…。こんな時は他に出来る問題から片付ける方がよいです。ペースを狂わせると点数が大幅に下がるがあるので、普段から時間配分を重視して問題演習を行い、当日はそれを絶対に守って問題に取り組んでください」とアドバイスしてくれました。



### 【古文・漢文】 75期 東京外国語大学言語文化学部 N. K. 君

古文は、基本をやっても解けないことがあるとは、よく言われますが、基本を徹底させることは確実に力になります。単語・文法・古文常識を覚えていくと難しい文章にも対応できると思います。そのためにも授業を活用しましょう。古典は授業で分からなかったものを復習したり、小テストで解けなかったものをやり直すなど、授業中心のルーティーンが望ましいです。問題集も買いましたが、授業でやったことの復習と感じました。

漢文は基本を生かせる分野です。句形や対句・詩のルールを覚えて、あとは問題を解きつつ慣れていくだけです。文を全体的に眺めると答えが分かることが多いです。古文の活用や漢文の句形はとにかく音読して行きましょう。耳から覚えるのが効果的です。

### 【英語R・英語L】 75期 東京外国語大学言語文化学部 N. K. 君

近年の共通テストの英語は難化していますが、昨年度は英語が得意と思っていた私でも焦りを覚えるような内容でした。特にリーディングは分量が増え、ただ文を読むだけでは、答えられない問題も多かったです。リスニングも、もし日本語で聞かれたとしても答えにくい問題があり、高速で多くの情報を正確に処理していく必要があります。また英語は1日の最後と言うこともあり、疲労が蓄積された状態になり、より難しいコンディションになります。

リーディングについては、速読力を付けることが大事です。一単語ずつ丁寧に読んで分からない単語ごとにつまずいては時間が足りないので、長文を、時間をはかって読んで、スピードを上げて行くと良いです。全てを分かろうとせず、重要だと思うことを頭にメモしつつ読むと良いかもしれません。このあたりの感覚を、量をこなして身につけていきましょう。また速読には音読も有効な練習です。

リスニングは、うまく聞き取れなかった箇所(単語の連結など)をスクリプトで確認したり、ディクテーションをしたりして、自分の弱点を洗い出して直して行くのが良いと思います。色々な地域の発音を聞いて耳を慣らしていくのも良いです。リーディング・リスニングに共通しますが、問題文を先に確認してから、文を読むようにしましょう。また時事的な内容に対応できるようにするために、幅広い内容の英文に触れると良いですよ。

### 【化学】 75期 東京工業大学工学院 I. T. 君

化学は、「理系の社会」と呼ばれるような教科で、暗記をしないとそもそも土俵に上がれないので暗記を中心に、そして理論の理解も並行して進めていく必要があります。

化学は覚えるべき範囲はキリが無いし、どれが出るかわからないので、フィードバックしていく方法が有効です。教科書等で確認し、問題を解く中で教科書等へ書き込んだり、線を引いたり、見たりとフィードバックしていき、分からないもの、知らないものを覚えていたいことを全て一つに詰め込んで行きましょう。分散させずに1つに!できれば思い出すときにそのページが頭で復元できるようにするとGood!

もう一つの覚え方のコツは、一般論と例外で分けましょう。例えば、 $CrO_4^{2-}$ の沈殿は、一般には黄色(Cu、Pb)例外は $Ag_2Cr_4$ で褐色という風に情報を少ないビット数で覚えると少し暗記が楽になります。

### 【日本史・世界史】 73期 慶應義塾大学文学部 K. H. 君

共通テスト日本史・世界史は難化したと言われますが、私大に比べれば簡単な方です。ただ情報処理能力を求められるので、多い問題文、図、地図、資料(史料)からポイントを見つけて問題を処理することが大事です。日本史や世界史は単なる暗記ではなく、理解して覚えるのが正解です。やみくもに出来事を覚えるのではなく、流れに注目すること、もちろん覚えるためにインプットはするが、アウトプットも大事!単語は1問1答でアウトプットし、色々な問題を解いてみるとよいです。政治の話に文化史の時期をきちんとリンクさせることが大事です!『古い順に並び替えよ』のような時代順を尋ねる問題が苦手な人がいますが、それは出来事を年号で覚えているか、出来事の因果関係を知らないからです。日本史や世界史は重要な年号は覚えた方がいいですが、大学入試では年号を問うところ(例えば上智)は少ないので大まかで大丈夫です。まずは選択肢を見て、次に資料(史料)を見て正誤を決めましょう。さらに資料(史料)問題では知識も関わるから持っている知識をフル活用するとよいです。



### 【全般】 76期 明治大学政治経済学部 K. R. 君

教科ごとに解く大問の順番と時間配分をあらかじめ決めておくといいです。事前に時間配分を決めておく過去問・予想問題や模試を解く際の時間のかけ過ぎを防ぐことができます。また問題演習をしていく中で、気付いた自分の得意分野・苦手分野をもとに自分に合った時間配分を設定することが大切だと思います。

